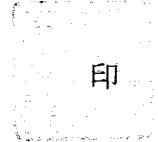


平成28年 3月29日

新宿区福祉部介護保険課長 殿

法人名 社会福祉法人 三篠会

法人代表者 理事長 酒井 亮介
職名・氏名



サービス評価結果に基づく改善取組計画書について

下記のとおり改善課題および具体的な取組計画をまとめたので報告します。

記

1 受審事業所名 グループホーム神楽坂

2 改善課題

- (1) 複合施設としてのメリットが活かせる取り組みの検討
- (2) 食事づくりを行なう機会の増加
- (3) 重度化した入居者への対応策の検討

3 具体的な取り組み

- (1) グループホームだけではなく、他事業所と共同の行事、イベントを企画する。また、重度化した入居者には、ご家族の意向を確認し、複合施設として特養があることを説明し、利用者の状態に合った今後の生活の場のひとつとして提案する。
- (2) 運営規程でめざす「有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように」との目標向かって、掃除、洗濯の他、今まで月1回程度のイベントとして行なっていた食事作りの頻度を増やし、より家庭的な雰囲気与生活していただけるような支援を行なう。
- (3) 職員の介護技術の向上のため施設内外での研修受講やスライディングボード等必要な福祉用具を導入し、重度化した入居者のQOL向上に努める。

4 評価機関に対する感想

平成23年度に受審した評価機関のため、開設1年目から現在までの施設の成長を評価いただくことができた。また、開設当時からの課題である地域交流スペースの有効活用や入居者との食事づくりの実施等、地域との関わりや入居者のQOL向上に直接つながる取組についての助言していただけた。



5 事業所からの意見等

開設から6年目を迎えグループホームの役割のひとつである入居者と地域社会の関わり、また、施設として地域のニーズに応えていく役割の展開が求められていることが明確化された。今後の課題として、地域密着型サービス本来の役割・機能が果たせるよう、事業所の中だけで完結させず、地域に向けたサービス展開をテーマとして、生活支援を行ってきたい。